

英語スピーチコンテスト 緑野小の山村さんが優秀賞

昨年夏から秋にかけて実施された第47回全国ジュニア英語スピーチコンテスト（一般財団法人日本LL教育センター主催）のChallengers Division(チャレンジャーズ・ディビジョン)で、緑野小学校の山村菜那（8歳）さんがレベル1（年中～小学2年生）クラスの優秀賞（公益財団法人日本英語検定協会理事長賞）に選ばれた。

同コンテストは、子どもの英語のスキル向上のため、自分の考えを主張したり、他人と豊かなコミュニケーションを図る事を目的に催されている。コンテストは、子どもの年齢に合った英語の例文を読み、発音や内容に沿った表現力を競うもので、オンラインで全国一斉に実施されている。昨年6月20日～7月31日間の期間中に、英文の例文を読んでスマホで録音しメールで送信。AIによる一次審査で、上位の子どもが専門家による2次審査に進むという方式。

山村さんは受賞について「最初はびっくりしたけど、とてもうれしいです」と喜んでいる。2月18日には市役所を訪れ、松原俊雄市長にコンテストの結果と英検4級合格を報告、松原市長の祝福を受けるとともに普段の学習方法などの質問に元気に答えていた。

山村さんは、英語好きな母の勧めで3歳から幼稚園で英語に親しみ、卒園後も英語塾に通っている。



松原市長（左）にコンテストのメダルと賞状を披露する山村さん

小学1年生で初めて同コンテストに挑戦したが、二次審査には進めなかった。2回目の挑戦で優秀賞を獲得した。

山村さんは「外国へ行ってたくさんお友達を作る」のが夢で、今後は同コンテストの上位部門Masters Division(マスターズ・ディビジョン)に挑戦するほか、小学校高学年までに英検準2級の取得を目指している。

中学校標準服をリユース クリーニング会社が協力

狛江市立中学校PTA連合会（上田英司代表）が取り組んでいる中学校の標準服（制服）のリユースが今年も行われる。クリーニング会社の㈱つくば商会在令和5年から卒業などで不要になった標準服の無償クリーニングを行っており、狛江市環境表彰制度で昨年度の市長賞に選ばれた。

今年は狛江第一中学校を除いて各校で回収する。なお、傷みが目立つ標準服は回収に出さないよう同社では呼びかけている。日程は次の通り。

狛江第一中学校＝1日～8日 午前10時～午後6時、Baluko Laundry Place 狛江（和泉本町2-33-22）で回収。

狛江第二中学校＝3月中に回収済み。

狛江第三中学校＝4月19日～5月1日まで午前8時～午後6時、校内の回収箱。

狛江第四中学校＝5月24日～5月26日の体育祭で実施予定。

クリーニングした標準服は、成長してサイズが合わなくなった生徒に優先的に提供される。

市民が活動の成果を披露

いべんと西河原を開催

「令和6年度いべんと西河原」（令和6年度いべんと西河原実行



ダブルダッチの演技

委員会主催）が3月1日～9日に西河原公民館で開かれ、訪れた人たちは15団体によるバラエティーに富んだ力作の展示や、ボードゲームや三線などの体験、陶芸などの展示販売を楽しんでいた。

ホールでは1日～2日・8日～9日に器楽演奏や合唱、ミュージカル、フラダンス、太極拳、ダブルダッチなど46団体による多彩なジャンルの演技が披露され、観客からは盛んな拍手が送られていた。

13日に和泉多摩川商店街で いずみ市とオープンテラス

和泉多摩川商店街振興組合が、同商店街や周辺地区の活性化を目指し、13日に「いずみ市」とオープンテラスを開催する。

市は同商店街の宝石店横の空き地で午前10時～午後3時30分に市内の団体や個人など11店が出店するフリーマーケットを開催、雑貨、衣料品、アクセサリ、レコード、小物などを販売や、市内在住のカメラマンが人物写真を撮影する出店もある。

オープンテラスは午後4時30分～7時に商店街の路上にテーブルとイスを並べ、商店街で買った飲食物を味わいながら春の夕暮れを楽しむ。

いずれも小雨決行。

問い合わせ Mmakiko@treetree.net 同会事務局清水さん。

子どもの視点で公園考える 市役所でフォーラムや展示

子どもの視点で公園を考えよ

うと狛江市公園フォーラムが2月28日、防災センターで開かれ、乳幼児や小学生の親子連れなど23人が参加。参加者はタコやクジラ型の遊具や、傾斜地などの地形を生かした遊具など、滑ったりもぐったりできる多機能な遊具といった様々な模型に触れ、専門家の説明を受けて、公園に対する興味を膨らませていた。

公園フォーラムは、平成28年から実施しており、令和6年度の公園フォーラムでは「公園の遊具ってどんなもの？」と題し、遊具の形やデザインの工夫などについて、市内の遊具メーカー（株）アンスの設計責任者鷲見健一さんが、同社のデザイナーがデザインし、全国各地に設置した遊具のコンセプトや特徴についてスライドを使って説明した。

参加者は動物遊具、地形を生かした遊具、モザイク造形が特徴の遊具の3つのチームに分かれ、模型を見て親子で気づいた点や感想を書いたふせんを貼って評価した。



ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

■おりがみボラ

2日～5月7日 午後2時～3時30分
こまえくぼ正吉苑二番館 一ちょうホール。



折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地域で教えるボランティア活動にも生かしている。

■切手ボラ

28日～午後1時～2時30分
あいとぴあセンター3階ボランティア室。

狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ1234）

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 狛江市役所5階 ☎5761-5556 FAX5761-5033
M info@vc.komae.org 開館時間＝午前9時～午後5時 休館日＝土・日曜日、祝日、年末年始



遊具の模型を評価する参加者たち

市役所ロビーでも2月25日～28日までアンス社が全国に設置したタコ、クジラ、ハスの花などをモチーフにした9点の模型と説明文を展示、多くの子どもたちが熱心に見学していた。

古代史テーマに映画と講演 5日にエコルマホールで

『元気なパラリンピック応援団』INこまえの初代会長で「さくら着物工房」を主宰する西野川の鈴木富佐江（88）さんがエコルマホール6階展示・多目的室で



ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

集められた使用済み切手の整理を行う。ハサミを使って古切手を整えたり、仕分けをするなど簡単な作業をするボランティア活動。

お知らせ

■ボランティア保険に加入していますか？

ボランティア活動を始めるとき、万が一のけがや事故に備えてボランティア保険の加入をお勧めしています。ボランティア・市民活動団体がイベントなどを開催する時は、行事保険の加入をお勧めしています。保険の申し込み、お問い合わせはこまえくぼまで。



ボランティア活動4つの原則

～見返りを求めない『無償性』について～

ボランティア活動は、活動目的の達成によって、出会いや発見、感動、そして喜びといった精神的な報酬を得る活動であり、個人的な利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。ただし、交通費や食費、材料費などの実費弁償については無償の範囲としています。



次回は「創造性・先駆性」についてです。

ホームページはこちら→

